島根県立 津和野高等学校

所　在　地：〒699-5605　鹿足郡津和野町後田ハ12-3
電 話 番 号：(0856)72-0106
FAX 番 号：(0856)72-0329
E メ ー ル：tsuwanokoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：https://tsuwano.ed.jp/

設置学科　学級数

各40人定員

◆未来共創科　　2学級

全校生徒数　174名(R8.5.1現在)

育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

未来社会の創造に仲間と協働して主体的に挑戦しようとする人
知性・徳性・感性に富み、心身ともに健やかで、自らの力で未来を切り拓く人

育てたい資質・能力

◆基礎力（自他の心身の健康、知識･技能、情報活用能力）
◆課題発見力（知的好奇心、共感力、思考判断力）
◆社会情緒的能力（表現力、対話力、発信力）
◆キャリア探究性（自他理解、自己決定力、粘り強さ）
◆課題解決力（創造力、協働性、多様性活用力）

求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

(1) 学びを大切にし、学びに本気で向かう姿勢を持つ生徒
(2) 自律心を持ち、自他を大切にする生徒
(3) 社会との関わりに興味関心を持っている生徒
(4) 向上心を持ち、成長しようとする生徒

学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

1．未来共創科
　両学科において普通科の枠組みの中で、新しい時代に対応した普通科改革に挑戦します。
2．カリキュラムの特徴
　情報活用では、データ活用力とデジタル技能を未来の担い手の基盤となる能力として育成し、教科学習と探究学習の深化に応用していくことを目標とします。
3．カリキュラム開発を支える2つの事業
　・未来共創支援事業・DX ハイスクール事業

【本校での学び】

津和野高校は、カリキュラムの４つの柱「教科学習」「探究学習」「情報活用」「特別活動等」を軸として学習を展開します。

２年次以降は、以下の３コースのいずれかを選択し、多様な進路の実現を目指します。

◆総合コース
基礎から幅広く学び、実習を通して教養を身につける。

◆探究コース
「総合的な探究の時間」を手厚くし、大学との連携による学術的な探究学習を行う。

◆自然科学コース
理系進学に対応するため少人数できめ細かい指導をする。

学校の特色

【津和野高校の魅力】

「『やってみたい』を『やってみる』、自分らしく、だれかのために」をスローガンに、自分らしい社会との関わり方を探究する学校です。

教職員をはじめ、多様な経歴を持つコーディネーター、町役場、地域の大人等様々な人が生徒の学びを支え、応援します。

【学習活動】

１年次は全員共通のカリキュラムですが、２年次以降、「総合」「探究」「自然科学」の３コースに分かれ、独自の進路別カリキュラムのもと、目標にあった科目を選択します。個々の学力を伸ばすために、習熟度別授業や少人数指導を実施しているほか、進学補習や個別の添削指導にも力を入れています。

また、敷地内にみらい共創センター『HAN-KOH』が設置されており、放課後から夜間まで、個別指導や自習サポートに加え、多様な人と交流し、意見を交わし、新しい価値を創造する場を提供しています。津和野高校は、関わる人の厚みによって、生徒の夢の実現を手厚くサポートしています。

【学校行事】

山口県萩市から津和野までを早朝から一日かけて歩き通す『鍛錬行事』や、複数の部活動が多彩な発表を行う『JAM』など、生徒が主体的に活躍する場面を大切にしています。

【多様性活用力】

しまね留学（地域みらい留学）制度を活用し、全校生徒の 30%以上の生徒が県外から津和野高校へ、充実した学びの場を求めて進学しています。地元津和野を含む様々な地域の出身者が、お互いの多様な考え方や文化を尊重し合い、課題解決に生かす力をつけていきます。

【部活動】

体育系６部、文化系４部があり、少人数でも全員が主役となる部活動を展開しています。地域系部活動「グローカル・ラボ」は、地域社会に積極的に飛び出し、伝統行事への参加、地元の方と農作物の栽培や商品の開発など、津和野の生活に溶け込む活動をしています。

【正徳寮】

卒業生が定員男女各 50 名の新しい寮を建設して寄付されました。令和６年３月から生徒が生活しています。ゆとりある二人部屋に、一人ずつベッドと机、本棚、冷蔵庫があります。